

64-ロクヨン-前編 (2016)

メディア 映画

ジャンル ミステリー ドラマ サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2016/05/07

公開情報 東宝

【キャッチコピー】

犯人は、まだ
昭和にいる。

【解説】

人気作家・横山秀夫の傑作ミステリー巨編を佐藤浩市をはじめとする実力派キャストの豪華共演で映画化したミステリー・ドラマ。本作は前後編2部作の前編。時効まで1年と迫る未解決の少女誘拐殺人事件、通称“ロクヨン”を抱えるとある県警を舞台に、ロクヨンを模した新たな誘拐事件の発生で混乱が広がる中、刑事部から警務部の広報に異動になったばかりのベテラン警察官が、記者クラブとの軋轢や警察組織内部に渦巻くいくつもの対立構造に振り回され、四面楚歌となりながらも、広報官としてギリギリのマスコミ対応に奔走していくさまをスリリングに描き出す。監督は「ヘヴンズ ストーリー」「ストレイヤーズ・クロニクル」の瀬々敬久。

わずか7日間でその幕を閉じた昭和64年。その間に管内で発生した少女誘拐殺人事件。いまま未解決のその事件を県警内部では“ロクヨン”と呼んでいた。刑事部で長く活躍しロクヨンの捜査にも関わったベテラン刑事の三上義信。私生活では高校生の娘が家出失踪中という大きな問題に直面していた彼だったが、この春から警務部の広報室に異動となり、戸惑いつつも広報室の改革に意欲を見せていた。折しも県警ではロクヨンの時効まで1年と迫る中、警察庁長官の視察が計画される。そこで、長官と被害者の父親・雨宮芳男との面会を調整するよう命じられた三上だったが、なかなか雨宮の了承を得られず困惑する。そんな中、ある交通事故での匿名発表が記者クラブの猛烈な反発を招き、長官の視察が実現できるかも不透明な状況に陥ってしまう。自らもなかなか捜査情報を得られず、県警と記者クラブの板挟みで窮地立たされた上、刑事部と警務部、あるいは本庁と県警それぞれの思惑が複雑に絡み合った対立の渦にも巻き込まれていく三上は、それでも懸命に事態の收拾に奔走するのだったが…。

【クレジット】

監督	瀬々敬久
企画	越智貞夫
エグゼクティブプロデューサー	平野隆
プロデューサー	木村理津 大原真人 渡邊敬介 浅野博貴 伊藤正昭
共同プロデューサー	藤井和史
ラインプロデューサー	武石宏登
原作	横山秀夫

『64 (ロクヨン)』 (文藝春秋刊)

脚本	瀬々敬久	
	久松真一	
脚本協力	井土紀州	
撮影	斉藤幸一	
美術	磯見俊裕	
編集	早野亮	
音楽	村松崇継	
音楽プロデューサー	水田大介	
主題歌	小田和正	『風は止んだ』
照明	豊見山明長	
録音	高田伸也	
スクリプター	江口由紀子	
装飾	柳澤武	
スタイリスト	瀨瀬春樹	
ヘアメイク	那須野詞	
VFXスーパーバイザー	立石勝	
サウンドエフェクト	北田雅也	
制作担当	篠宮隆浩	
助監督	海野敦	
出演	佐藤浩市	三上義信
	綾野剛	諏訪
	榮倉奈々	美雲
	夏川結衣	三上美那子
	窪田正孝	日吉浩一郎
	金井勇太	蔵前
	筒井道隆	柿沼
	鶴田真由	村串みずき
	赤井英和	望月
	菅田俊	Shun Sugata
	小澤征悦	Yukiyoshi Ozawa
	菅原大吉	漆原
	坂口健太郎	御倉
	宇野祥平	石井
	菜葉菜	手嶋
	嶋田久作	Kyusaku Shimada
	三浦誠己	
	黒川芽以	
	小橋めぐみ	
	芳根京子	三上あゆみ
	萩原みのり	
	平田風果	
	瑛太	Eita
	椎名桔平	秋川
	滝藤賢一	辻内欣司
	烏丸せつこ	赤間
		日吉雅恵

山崎ハコ	Hako Yamazaki	
諏訪太郎		
大久保鷹		
奥田瑛二		荒木田
仲村トオル		二渡真治
吉岡秀隆		幸田一樹
永瀬正敏	Masatoshi Nagase	雨宮芳男
三浦友和		松岡勝俊